

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス はぐゆい		公表日		令和7年2月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動室が広く、子どもたち様々な活動、遊びが出来ています。広すぎて区別することが難しい場面もありますが、活動の内容等必要に応じてパーティションを使うなど工夫しています。	十分なスペースがあるが、一つの大きな空間となっているので、引き続き工夫しながら構造化を図っていきます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	利用人数、利用する子どもによって職員の配置を調整するなどして、適切に配置しています。	登校日と学休日に該当することも混在する日などは、支援時間にばらつきが生じ、必ずしも職員の人数が十分とは言えない日もあります。通常時とは異なる対応が必要な日については、支援内容含め、適切な運用が図れるよう検討していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・活動室の物は最低限にするほか、動線に配慮した物の配置をしています。 ・各部屋や場所、扉などに写真や絵カードを貼ることでこの部屋、場所がどういったところであるかを分かりやすく視覚化しています。 ・駐車場から玄関、主活動の場までバリアフリーになっているほか、階段には手すり、高い段差となっている場所には補助階段を設置するなどしています。	子ども用に適した机や椅子が揃っていないため、必要に応じて買い揃えるなど検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃と消毒により清潔な空間を維持するよう努めています。 また、子ども達が使う空間には支援に関係のない物は置かないことで、各種活動に合わせやすい空間となるよう配慮しています。	より子ども達が落ち着いて心地よく過ごせるようになるために、何が必要かを考え、今後も検討と改善を続けていきます。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	6	個別の部屋（個室環境）はないが、パーティションや扉で区切るなどして個別になれる環境をできるだけ作り出すよう工夫しています。	現状は広い空間内をパーティションで区切る等に対応することが多く、個別の活動、子ども達が集中して取り組みたい場面などにおいては環境設定として不十分であると感じる点もあります。より良い環境設定ができるよう検討と改善を続けていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	毎日のミーティングの場で振り返り等行うほか、月次の職員会議等でも様々な課題を取り上げて話し合っています。不参加の職員へは議事録の回覧、後日個別に伝達するなどして共有を徹底しています。	PDCAサイクルへの職員の参画の機会はあるものの、目標設定などの面で不明確なところがあるため、明確化していくことで業務改善が適切に推進されていくよう心がけていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4	保護者向け評価表への協力をいただいています。	開所一年目であり、本自己評価作成時点では保護者向け評価表の取りまとめができていないため、今後、結果を踏まえ必要な業務改善を行っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	意見交換の場はあり、把握する機会を設けています。	挙がった意見のすべてを業務改善に反映できる訳ではありませんが、可能なことは反映させていき、今後はより改善率を高めていけるよう工夫していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	第三者による外部評価は行っていません。	今後必要に応じて外部評価を受ける機会を、検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部団体（行政等）主催の研修への参加、オンライン動画研修など、法定研修に限らず受講の機会を設けています。	法人内研修はほぼ整備されていないため、今後は各スタッフが主体（講師）となって行う研修スタイルの確立のほか、現研修制度についても通常の業務との兼ね合いで負担となり過ぎないように計画性を持って行えるよう見直しを図っていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムは職員全員で話し合い決めるなど、適切に作成しています。また、当事業所ご利用の保護者様にはアプリ等連絡ツールにてお知らせしています。	事業所としての支援プログラムについても公表を行いました。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	子どもの観察、ご家族や相談支援事業所、学校などから出来るだけ多くの情報を得るようにし、計画作成に努めています。	引き続き適切な放課後等デイサービス計画の作成に努めています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	定期的話し合い、会議の時間を設けることで共通の理解を持って計画作成への検討を行っています。	引き続き子どもの最善の利益を考慮した検討が行えるよう努めていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	完成した計画は回覧によって全職員に共有され、それぞれが意識をもって関わるよう努めています。	引き続き職員間に共有されているかの確認と、計画に沿った支援が行われているかの振り返りを行っていきます。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	標準化されたツールでのアセスメントを利用するケースもありますが、全員に対しての行動観察による分析に力を入れています。	標準化されたツールを活用しつつ、日々の行動観察により個々の状況について確認の徹底を行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個々のこどもに合わせて、必要な項目への具体的な支援内容となるよう設定しています。	引き続き必要な項目の設定、各項目ごとにおける具体的な支援内容の設定を心がけていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動プログラムの立案、決定は毎月会議を開催し、話し合いの上で決めていきます。	今後も会議の開催により活動プログラムは決定していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節にあった行事や遊び、毎月行っているクッキングであっても作る物を季節に合わせるなどの工夫により、単調化しないように工夫しています。	プログラムを決める会議を毎月開催し、意見を出し合っています。今後もプログラムが固定化しないよう創意工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	現在の主活動は集団活動がメインであり、個別活動という枠組みでの支援は行っていませんが、集団活動の中で、個別の力に合わせた設定内容の提供に努めています。また、活動は一人ひとり、自分でできるよう支援しています。	現在は集団活動プログラムをベースに組み立てているため、後は個々の特性や困り感、伸ばしていくべき課題などに沿ったプログラムの組み立てなども検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	その日の出勤者が揃ってミーティングを行い、一日の流れ、支援内容、注意点等を共有した上で支援に当たるようにしています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日実施しています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	特異事項については記録を残し、それ以外にも気づきなどは日々のミーティングで確認と共有を行い、次の支援に向けての準備や改善に努めています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	全利用者様に対して定期的なモニタリングを行っているとはいえ状況があります。	定期的なモニタリングが行えるよう業務スケジュールの管理を徹底し、実効性のあるモニタリングが行えるよう努めていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	自立支援と日常生活の充実のための活動に重きを置いて実施しています。創作活動や余暇の提供、機会は少ないものの地域交流についても学休日に提供するよう努めています。	公共の場へのお出かけや陶芸教室への参加をしましたが、後は就労継続支援事業所との交流なども視野に入れ、支援の充実を図っていくよう検討していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	一定のルール、方針のもと行う活動においても、こども自身が選択できる要素を残し、選択の機会を提供しています。また、自ら決めて行動する事を育てる方針であることを個別支援計画書にも落とし込み、共通認識として支援に当たっています。	プログラムを組み立てる際に、こども達にどこまで選択の自由を与えるかなど、より詳細に検討し、自己決定する力を更に伸ばしていくよう工夫していきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	児童発達支援管理責任者が参加しており、それ以外の支援員の参加はありません。	個々でみた場合に児童発達支援管理責任者よりこどもに対して理解の深い支援者がいる場合もあるため、会議に際しては事前に情報共有を徹底するほか、場合によっては会議へ二人参加をするなども今後検討していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	連携会議は学校、他事業所（放デイ）参加のもと行われており、その場での情報共有に努めています。また、送迎時における担任の先生との情報共有、必要に応じて他事業所との電話連絡等での連携も取っています。	保健、医療、障害福祉等関係機関との連携については、個々の状況も考慮し必要に応じた連携が図れるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	保護者様を通じて学校の行事予定、下校時間等の確認、送迎時の対応についての連絡調整も概ねスムーズに行えています。	学校や担任によっても対応が異なってくるため、学校と直接の連携や調整が必要なことについて、スムーズに連携を取っていただけるよう事業所からできる働きかけについて検討していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	直接利用していた施設との情報共有は行えていませんが、相談支援専門員を通じて情報収集に努めています。	出来るだけ情報共有を行えるよう保護者様や相談支援専門員と相談しながら進めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	該当者がいないため、行っていません。	今後、該当者が出来た場合には適切に対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	設けていません。	今後、必要に応じて機会を設けていきます。

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	他の放課後等デイサービス事業所と合同で陶芸教室に参加したことがあります。交流としてはその一回のみです。	現状そのような機会を設けられていないので、今後プログラムに取り入れていけるよう検討していきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	児童の発達支援に関わる事業所ネットワークのスタッフに1名登録し、ミーティング等活動に参加しています。	引き続き活動への積極的参加に努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	懇談やモニタリングを通じて共通理解を持ち、送迎時の対面や活動記録にて日々の状況を詳細に伝えるように努めています。	今後も継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	現在は実施出来ていません。	次年度には取り組みをスタートできるよう検討を進めていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を行うとともに、変更が生じた際には追加説明を行うようにしています。	今後も保護者様が理解しやすいように、また、最新の情報をお伝えできるよう丁寧な説明に心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	作成に際しては保護者様から現状や要望、支援に対する意見を聴くなどの機会を設けています。	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	作成した支援計画書を示しながら対面又は電話にて説明をおこなった上で同意をいただいています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	相談があった場合には応じています。	あくまで保護者様発信の相談に応じる形であるので、相談先としてより広く受け入れていただけるような関係性の構築等環境設定に努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	現状行えていません。	次年度中にはこのような支援が行えるよう検討を進めていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情解決体制については整備し、契約時に説明を行っています。	今後、苦情があった際には迅速かつ適切に対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	定期的な通信の発行やSNSの活用は行っていません。広く一般向けへの情報発信はHPのお知らせにて、ご利用中の保護者さまへはアプリを活用し情報発信に努めています。	業務負担との兼ね合いを検討しながら、より適切な情報発信を行っていけるよう検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報のスタッフ個人による所有を禁止し、社用パソコン、社用携帯のみでデータ管理をするともに、セキュリティソフトの導入、バージョンアップを行っています。事業所内において、紙媒体は所定の場所へ保管することを徹底しています。	引き続き適正な管理に努めます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	分かりやすい言葉を用いたり、イラスト、写真と文字を組み合わせるなど視覚化による伝達など工夫しています。	今後もより良い方法を模索しながら取り組んでいきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	現在まで実施できていません。	事業運営上の課題として実現可能な対応を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	すべてにおいて周知および訓練の徹底が出来ていないとまでは言えない状況です。	まずは従業員向けに周知徹底するとともに、保護者様へのマニュアルや訓練状況の公開など周知に取り組んでいきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	避難訓練の実施はできているものの、その他必要な訓練については不十分な状況であると認識しています。	年間の訓練計画および適宜見直しを行う事で実効性のある訓練が行えるよう努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	3	アセスメントにより把握に努めています。	保護者様からの情報に基づき把握には努めていますが、予防接種までは把握できていないなど、不足部分があります。今後、把握に努めていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	調査票など家族を通じて把握に努めています。医師の指示書までは確認、把握できていません。	アレルギーのあるお子さんについては保護者様を通じて医師の指示書を確認させていただくなど、対応の明確化をしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3	安全計画について、オンライン研修を実施するなど対応を取っていますが、内容の周知や実情に即した訓練や措置については不足している部分があります。	一つひとつ見直しを行いながら、オンライン研修など外部からの知識を得た際には現状の見直しなども随時行うなど、ブラッシュアップを図っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	5	家族等との連携について図れるよう努めていますが、安全計画に基づく取組内容の周知まで至っていないところがあります。	今後、機会をみて情報発信を行ってまいります。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットが発生した際には報告書を作成し、発生原因や対策を検討、全員に周知するよう努めています。	引き続き共有を徹底するとともに、検討した対策を有効なものとし、安全安心な事業所作りに努めていきます。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	オンライン研修を中心に、行政主催の研修等にも参加し、虐待防止への意識を高めています。	引き続き継続した研修の機会を持ち、適切な対応に努めています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	委員会を設置し、組織的な仕組みづくりと対応体制を整えています。	現在まで該当者はいませんが、必要な場合には委員会を開催し、組織的に決定し、適切な対応に努めています。